



加古川東高生とのプレゼン授業交流 ～ 6年生 プレゼンの極意を学ぶ! ～



13日(月)、加古川東高校から4名の生徒を招き、6年生とプレゼンの発表を通じて授業交流を行いました。4名の生徒は、このほど行われた内閣府主催の全国地方創生政策アイデアコンテストのプレゼンで、全国2位を受賞しています。高校生のプレゼンは、「高砂町の古民家などの歴史景観を生かして、どのように町を活性化するのか」という内容でした。当日、高校生は言葉やデータの表示を小学生向けに直して発表してくれました。本校6年生からも3名の有志児童が2学期にまとめたSDGsの学習を発表しました。そして、高校生に講評をしてもらいました。その後、「スライド作成では文字の羅列にならないようにすること。」「効果的にイラストや画像を入れること。」「発表時は相手をしっかりと見て、はきはきと話すことで思いが伝わりやすいこと。」など、プレゼンをする上で気をつけるべきことをたくさん教えてもらいました。さらに、もうすぐ始まる中学校生活の過ごし方などもアドバイスしてくれました。これからの時代は、これまで以上に自分の考えをまとめて発表する“プレゼン力”が求められてくることでしょう。そのことから、今回の加古川東高校生との交流は、児童にとってたいへん有意義な学習になったことと思います。



5年生と米田こども園(5歳児)との交流会

13日(月)、5年生は来年度入学する米田こども園5歳児と交流会を実施しました。教室と体育館に分かれて交流しました。体育館では、平均台や跳び箱、マット、フラフープなどを使ったいろいろな運動遊びを、教室ではお互い自己紹介の後、カードゲームなど、5年生がそれぞれのクラスで考えた遊びで園児と交流しました。園児は、小学校の教室や体育館でお兄さんやお姉さんと一緒に過ごせたことで入学への不安感が少し減ったのではないかと思います。また5年生児童は、4月に入学してくる園児を前に、最高学年になる気持ちを味わえたのではないかと思います。



石川県応援募金を届けました 1.17プロジェクト

9日(金)、先月実施しました「1.17鎮魂の灯」で集まった募金を神戸新聞東播支局へ届けました。1月17日以降も地域の方から学校へ直接募金を持ってきていただいたりし、総額81,201円になりました。この募金は、神戸新聞厚生事業団を通じて石川県へ届けられます。あらためてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願っています。

